

出張勉強会 のご案内

知識  と技術  の

対面セミナー・研修

出張勉強会とは

出張勉強会のサービス内容について
の概要

P1へ▶

メリット

こんなメリットがあります

P2へ▶

講座内容

受講できる講座の一覧

P3へ▶

利用料金

ご利用にかかる費用に
関すること

P6へ▶

講座内容一覧に載っていない項目もぜひご相談ください



日本業務向上機構株式会社

Japan Business Improvement Organization Co., Ltd.

出張勉強会

スタッフのための勉強会を**まるごと**ご用意！

教育にかかる負担とコストを**大幅軽減！**

教育計画に必要な内容はお任せください！

研修はすべて対面で座学から実技まで！

専門職が確かな知識と技術を教える！

ご施設へ訪問して、セミナー・研修を実施いたします！

簡単3ステップ

ご相談

まずはご希望についてお聞かせください！

打ち合わせ

セミナー・研修の日程を調整いたします

実施

セミナー・研修をご施設にて実施いたします

利用者

- ・ 入居生活の安心と安全の向上
- ・ サービスの質向上

経営者

- ・ 入居率アップ
- ・ 評判・市場価値があがる
- ・ 離職率が下がる
- ・ 収益が上がる

現場スタッフ

- ・ 正しい知識・技術が身につく
- ・ 精神的ストレスの軽減
- ・ 業務の効率があがる
- ・ 人手不足解消
- ・ モチベーションが上がる

運営・経営者の方へ

研修を標準化することで準備コストを削減しつつ、職員の知識・技術が向上し安全で効率的な業務が実現します。職員の安心感が離職防止につながり、人材コストも低減します。さらに利用者にとっても安定したケアを受けられることで安心して生活でき、施設全体のサービス品質が向上。結果として事業所の評価が高まり、収益向上まで見込める“投資効果の高い研修”を実現できます。

大きなメリット



教育の質が
統一され
仕事効率UP！



対面研修で
知識・技術の
定着率UP！



研修の
※見え
ないコスト
の削減！

※「見え
ないコスト」とは：研修担当者が資料作成など研修の準備に費やす労働生産時間です。
一般的に30分の勉強会を開催すると50時間（時給1,600円とした場合80,000円）かかります。
また、その50時間は本来の業務に取り組めていた時間であるという、時間的損失でもあります。

これらにより、職員の方々が自分の業務に集中できる時間を確保することができ、
より効率的に働ける環境へと整っていきます。

2つのプラン

詳細はP6へ▶

講座選択プラン

※ご選択いただける講義内容については
講義一覧のページをご確認ください。

必ず身につく！ 講座を自由にご選択いただくプラン

講座を自由にお選びいただいて実施するので、各御施設が
必要な知識・技術をタイムリーにお届けすることができます。

コース選択プラン

※各コースのご説明はP6をご覧ください。

短期集中！ 一覧からピックアップしていただくプラン

講座一覧から組み合わせをお選びいただき、短期間で実施しますので
必要な知識・技術を集中的にお届けすることができます。

入職者向け
コース

職員向け
コース

外国人スタッフ
向けコース

講義 一覧 ①

基礎知識Ⅰ：介護施設で働くために必要な知識

講義名	内容
BCP	BCPって何？から、災害を想定した研修の進め方まで
	利用者さんの緊急時！まずは何をする？
	非常災害時の対応の基本
介護現場のハラスメント	ハラスメントとは？遭遇したらどうする？
	カスタマーハラスメントとは？遭遇したらどうする？
介護施設で働くということ	プライバシーの保護とは
	接遇の基本的な考え方
	介護における基礎的な倫理観
介護職員のセルフケア	ストレスマネジメントの基本
	メンタルヘルスとは？心の守り方の基本
	身体的セルフケアの基本
	職員が自立できる環境とは
情報の取り扱い	ICT活用が与える影響
	ICT機器の活用例
	情報の取り扱いの基礎

基礎知識Ⅱ：介護現場で必要な知識

講義名	内容
感染対策	感染しないための基本
	感染対策とは？
	具体的な感染対策
食中毒対策	食中毒予防の基本と対応
自立を促す関わり	自立に向けたかかわり方の基本
	自立のための工夫
	自立に向けた支援の考え方の基本
心理面への配慮	尊厳や倫理に関わる考え方の基本
	法令遵守の必要性和基本
	心理的な配慮
チーム介護	チームで行うケア
	チームでの連携
老年領域の基礎知識 「加齢による身体的・精神的変化」	加齢による身体的・精神的変化
	事故の防止策
	口腔ケア
	高齢者虐待に関する防止策
	身体拘束の要件と予防的措置
	精神的ケアの基本
	ターミナルケア(終末期支援)
	入浴ケアの基本
	認知機能の低下に関わるケア
	加齢による認知機能の低下
	身体変化と排泄ケア
	食事に関わる栄養ケア
	身体的特徴の理解

講義 一覧 ②

応用知識：介護現場で求められる知識と技術

講座名	内容
安全な環境	転倒をはじめとした事故防止のための考え方の基本
	利用者さんに異常を発見した！その時の対応の基本
	事故を防止できる安全な環境とは？
	福祉用具を管理するときの基本
介護施設で求められるコミュニケーション①	コミュニケーションの基本
介護施設で求められるコミュニケーション②	ご家族と接する際に気を付けること
	傾聴とは？共感的なかわりの基本
	声掛け一つも技術です
	認知症の症状への対応の基本
介護施設で求められるコミュニケーション③	介護現場におけるコミュニケーションの基本
	アンガーマネジメントとは？
ご家族へのかかわり	事故後のご家族への対応の基本
	ご家族への支援的なかわり方
情報を伝える	ケアプランとは？
	チーム内の情報共有に必要なこと
	危険予知と情報共有
	申し送りで伝えるべき事項の基本

基礎技術 I：介護現場で必要な技術

講座名	内容
清潔な環境	清掃の基本
	整理整頓の基本
	ベッドメイキングの基本
	介護におけるレクリエーションの基本的な考え方
レクリエーションの目的と影響	レクリエーションが精神面に及ぼすメリット
	レクリエーション実施の基本
	集団活動支援とは
	介護記録の基礎基本
介護で必要な記録	ケース記録に書く内容、書き方の基本
	ヒヤリハットを記録するときの基本的な考え方
	介護記録とは？
介護で必要な記録を書くときに見ること	介護記録、何を見て何を書く？
	バイタルサインの重要性
	皮膚状態の観察の基本
	利用者さんを観察するとき、何を見る？
	更衣介助の基本
身だしなみを整える介助	麻痺がある場合の更衣介助の方法
	整容の基本
	全身清拭による整容
	身だしなみを整える介助の基本的な考え方
	爪切り、顔拭きの重要性
	高齢者と薬の特徴「高齢者にとって副作用は大敵?!」
	内服介助の基本(6R、姿勢、水分の用意、飲み込み、拒否の対応)
内服介助	介護職が薬に関して法的にできること、できないこと
	内服時の観察(内服前・中・後)
	口腔ケアがもたらす影響について
口腔ケア	誤嚥性肺炎を起こさないために
	残存歯のある場合・ない場合の口腔ケア

基礎技術Ⅱ：介護現場で必要な技術

講座名	内容
食事介助	経管栄養の基本
	食事の時の姿勢の整えかたの基本
	状態に合わせた食具の選択
	食形態の合わせ方の基本
	配膳・下膳時の注意点
	嚥下・咀嚼の観察方法
	誤嚥とは？誤嚥予防の基本
	水分摂取の必要性と形態の選択
	食事介助時に気を付ける一口量
	食事介助の基本
移動・移乗の介助	車いすの移乗介助の基本
	ベッドから車いすへの移乗介助の基本
	起き上がり介助の基本
	車いすの移動介助の基本
	立ち上がり介助の基本
	杖歩行の介助の基本
	ベッド上の移動介助の基本
	歩行時における介助の基本
	歩行器移動時の介助の基本
	移乗・移動介助の基礎
ポジショニング	なぜ必要？ポジショニングの基本的な考え方
	椅子上での適した姿勢
	車いす上での基本の姿勢
	状態別のポジショニングのコツ
	体位別のポジショニングのコツ
	ベッド上ポジショニングのコツ
ボディメカニクス	ボディメカニクスとは
	ボディメカニクスの活用
入浴ケア	入浴介助の基本(バイタル、湯温、環境、水分補給、シャワー浴、洗体の順番、安全な介助、安全な入浴環境、浴槽の出入り介助)
	全身浴の介助
	機械浴の介助
	シャワー浴の介助
	入浴に関わる健康観察の注意点(入浴前・中・後)
	入浴に関わる皮膚観察の注意点(入浴前・中・後)
	手浴の注意点
	洗髪の注意点
	足浴の注意点
排泄介助	排泄について
	トイレでの排泄ができること
	トイレ誘導するときの基本
	オムツを使用するとき
	車いすですぐにトイレに行けるときの基本
	歩行器でトイレに行けるときの基本
	失禁してしまったとき
	排泄物の観察

※講義内容一覧に載っていない項目(知識や技術)についても可能な範囲で
対応させていただきます。
ぜひ、ご相談ください！

(例)「誤薬時の対応について」「誤嚥しにくい食事介助」 など

2つのプランの詳細

※交通費別途

講座選択プラン

各施設で講座(研修・勉強会)を選んで組み合わせて、オリジナルのコースを作成することができるプラン。

単回プラン

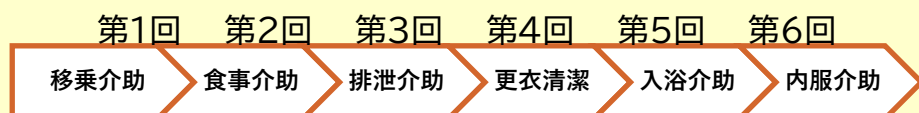
1回のご利用ができる
コース

1講座:3.5万円

定期プラン

回数と期間が選べる定期受講プラン

例:月1回実施で6講座、全6回コース
(3.5万×6講座×定期割引※)



※割引内容はお問い合わせください

コース選択プラン

入職者向け コース

対象者:入職者
講座数:3講座～ 日数:1日～
内容:入職者に向けた、知識と技術を身につける
コース
費用:10万円～

職員向け コース

対象者:施設職員
講座数:3講座～ 日数:1日～
内容:施設職員に向けた、知識と技術の確認が
できるコース
費用:10万円～

外国人スタッフ 向けコース

対象者:外国人スタッフ
講座数:3講座～ 日数:1日～
内容:外国人スタッフが日本の介護施設で働くために
必要な知識と技術を母国語付き資料で学べる
コース
費用:15万円～(資料翻訳費込み)

受講者様の声

ご依頼:大規模事業所での全体研修
内容:ハラスメント研修



幅広いスタッフに伝わる
内容構成で、分かりやす
かったです

資料を用意してもら
えるのでとても助か
りました

実験が
面白かったです

ご依頼:複数事業所での統一した研修
内容:感染対策研修



どの施設でもスタッフが
興味をもって研修を受け
ていたのが印象的でした

お電話、メール、ホームページからお問い合わせいただけます！

☎ 027-381-3718

✉ ubukata@nihonbio.jp

📧 日本業務向上機構株式会社



パソコン・スマホでも
情報を見ることができます！

日本業務向上機構

